



毎月23日は
家庭読書の日

Tamba city library

図書館員がおすすめする

今月の推し本



一般書

『春にして君を離れ』

アガサ・クリスティー 廣野 由美子／訳

(光文社古典新訳文庫)



2026 年はアガサ・クリスティー没後 50 年。
それを記念して異彩を放つ人気作が新訳で発売されました。

夫と 3 人のこどもに恵まれた裕福な主婦ジョーンは、娘の住む中東から
ロンドンへの帰路で足止めを食らい、砂漠のレストハウスで孤独に
今までの人生を振り返る。やりとりを思い出すたびに、良妻賢母で
あるはずの自分と愛する家族との関係が歪なことに気づいていき……。
ミステリの女王が描く、殺人事件が起きない傑作サスペンスです。

児童書

『ぜんぶやりたいまにちゃん』

くどう れいん／作

及川 賢治／絵 (Gakken)



まにちゃんは毎日ちがう仕事をしています。
月曜日は歌手、火曜日は消防士、水曜日は水泳選手……。
たのしく暮らしている まにちゃんに町の人には言いました。

「どれが いちばん だいじなの？」

全部やりたくて、全部たのしくて、全部にあっているのに、
いつかはひとつに決めなくちゃいけないのかな？
家族で語り合いながら読み聞かせするのにぴったりの絵本です。